

少年フットサル大会に全道から48チーム集う

平成27年11月21日、22日の2日間、石屋製菓白い恋人杯日刊スポーツ芦別少年フットサルフェスティバルが、総合体育館をメイン会場に市内4か所で開催されました。

23回目となる大会は、今回初めて本市で開催されました。

大会には、札幌市や旭川市など全

道各地から48チーム、男女合わせて約500人が参加。芦別サッカー少年団も出場しました。

各試合会場では、選手たちが懸命にボールを追う白熱した試合が展開され、保護者などの大きな声援も飛び交っていました。



在宅福祉をテーマに星槎大学公開シンポジウム開催される



平成27年11月27日、星槎大学附属研究センター・芦別プロジェクト主催による在宅福祉をテーマとした「芦別シンポジウム」が総合福祉センターで開催されました。

当日は芦別市社会福祉協議会の岡部規子会長が「芦別の在宅福祉の現状と課題」と題して基調講演した後、西宮元町町内会の小林廣勝さん、み

んなで介護を考える会代表の榎本新さん、芦別市地域包括支援センター社会福祉士の石塚翔平さんがシンポジストとなり、地域ぐるみでの福祉事業の取り組みなどを紹介しました。

会場には約170人が集まり、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりへの提言などについて、真剣に耳を傾けていました。

『野のなななのか』国内外で多数の受賞報告を兼ねて上映会開催

平成27年12月12日、13日の2日間、「星の降る里芦別映画上映会」が、総合福祉センターで開催されました。

平成25年に本市で撮影された大林宣彦監督作品『野のなななのか』は、昨年国内外で行われた各種映画祭で多くの賞を受け、上映会はその報告の意味も込めて行われました。13日の上映に先立って大林監督は「市民皆さんの力によって生ま

れた映画が世界へ発信、称賛されていることは大きな誇りです」と語りました。

また、前日の12日には大分県臼杵市での有機農業の取り組みを追った記録映画『100年ごはん』(大林千栄英監督)上映とともに、芦別産の米や野菜、小麦「つるきち」などを使った料理の試食会が行われ、参加した皆さんは、芦別産食材の質の良さと豊富さを再認識していました。



「芦別の星空」を市内外に発信へ。青年会議所が星空イベント



ゆるキャラ「米すたーちゃん」

一般社団法人・芦別青年会議所主催の星空観測会「星空のマルシェ～星降る夜を楽しまナイト」が平成27年12月15日、総合体育館で開催されました。

同会議所が昨年6月に行った「まちづくりアンケート」で、芦別の魅力の一つとして、「星空」をあげた回答が多かったことから、芦別の星空を再認識してもらおうと開催されました。

あいにくの雨模様で観測は断念。それでも、小学生など集まった約50人の参加者は、市内在住の天文愛好家、吉田純昭さんが用意した星空のスライド写真を見ながら、星座や星空観察の話に興味深そうに聞き入っていました。また、芦別の魅力をPRするために同会議所が作成したゆるキャラ「米すたーちゃん」も登場しました。